
LIFE STORY たわいも無い、日常の1コマから～

板郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

LIFE STORY

たわいも無い、日常の一人コマから

【著者名】

NO305K

【作者名】

板郎

【あらすじ】

日常のあついたりなことを、文章にしてみました！

恋愛、仕事、生活・・・

極普通のことを書いてみました！

(前書き)

日常のあつれたりなことを、文章にしてみました！
恋愛、仕事、生活・・・
極普通のことを書いてみました！

都会を流れる車を、ぼんやりと眺める am7:00。

21階からの景色は時間を忘れさせてくれる。

残業ばかりで疲れた体に、今日もまた疲れを積み重ねている。いつのまにか自由に生きることを忘れて、必死にもがいている自分に嫌気を感じている。

「別れよう

メールの淡白な文章に涙も流れず、携帯電話の電源を切った。会議用の資料を明日までに仕上げなければならない。

そして再びパソコンに向かう am8:00。

グラスにワインを注ぎ、傾けた時に君が見せた笑顔がモニターの中に見える。

文字が少し滲んで見えて、ため息をついた am10:45。出来上がった資料をプリントアウトし

冊子にしてパソコンの電源を切ったのは am12:25。終電で誰もいない部屋に帰るころには am1:30。

閉めたはずの鍵が開いている…

中に入ると、彼女がやさしく微笑んでいた。

ワインを傾けた am2:00。

「今日はあなたの誕生日でしょ？おどかしたかったの。」

彼女を抱きしめて電気を消した am2:30。

そして…

2

流れ行く景色の中で 思つことが有る
過ぎ去る時間は取り戻せないが
やり直すことは出来るはずと

「貴方の夢は何ですか？まだ憶えていますか？」

つらい質問が君の口から問い掛け
僕は 立ち止まって動けない
悲しいほど現実は厳しいと…

そんな時だから貴方にそばにいて欲しい…

流れる涙も

こぼれる笑顔も

貴方となら分かち合える

いつも僕だけに微笑んで欲しい

喧嘩をしても

最後には僕のそばにいて欲しい

「 さよなら」

なんて言わないので
朝の日覚めに君を見て
眠る前にも君を見て
1日が過ぎていく…

そんな幸せな日々を

夢に見ていたよ
いつも いつまでも…

3

グラスを傾けている
二人きりのカウンター
ちょっとスローなスタンダードジャズが
店の中のブルーライトにマッチしている
しかし

曲は流れても
二人の時間は止まっているかのよう
たわいも無い日常の会話で
たまに見せる彼女の笑顔が
やさしく僕の瞳に映る

今でも眼を閉じると
セピア色の想い出が浮かぶ…

彼女の好きだったスター・ダストを横に
ドライマティーーをシェイクしてもらつ
込み上げる涙を押さえる様に
グラスを空ける

一人で椅子を 今日も温めている…

4

都会のノイズにかき消されて 彼方の言葉も聽こえない
もつとそばに近づいて 私の鼓動が聽こえるくらい
もつとそばに近づいて 私の胸が触るくらい
彼方の耳に そつと呴く

5

「愛してる」

彼方の胸に抱かれていたい
だから受け止めてよ
この想い

強く強く抱きしめて

「今夜は放さない」なんて むさやいて…

5

どれくらいの時間が過ぎただろう
まだ貴方の寝顔を眺めている…
一人で過ごして
泣いたり 笑つたり 怒つたり…
猫の目のように変わる表情
でも 今は違う
寝顔はいつまでも変わらない
その耳元にそつと囁く

…大好きだよ…あつ、笑つてる…

6

ヘッドライトの川を見つめる
毎日が歯車のように
規則正しく動いていく
自分を取り戻すための
たつた一日の休みさえ
仕事を忘れることはない
いつの間にか
心に新鮮な風はなく
日常の苦痛だけが残る
逢えば けんかばかり…

6

涙も出ない程

気がつけば 荒んでいた…

7

想いは遙か

貴方を見つめ

切ない時間を過ごす

何も手につかず

涙が流れる…

貴方は今 何をしてますか?

まぶしい笑顔で 微笑んでますか?

自分の笑顔を取り戻すため

走りだそう 今すぐに…

そして 伝えよう

好きですと…

8

優しく抱きしめた君の温もりが

腕に残つて忘れられない

愛しく想つていたのに

うらはらな態度

追えまだ届く距離なのに
足が前に進まない

左の頬の痛みと流れる涙

でも君の涙に濡れた顔が

心に痛む

たつた一言

ごめん

7

といふべなくして…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0305k/>

LIFE STORY たわいも無い、日常の1コマから～

2010年10月12日00時45分発行